



沖繩地区税関 管内貿易概況（速報）

令和4年6月分

※税関は150周年を迎えます。

（増減・伸率は対前年同月比）

●今月のポイント

●輸出

・輸出総額は20億13百万円、対前年同月比10.4%増（2ヵ月連続の増加）

- ・主な増加品目は「輸送用機器」（9.9倍）、「再輸出品」（5.8倍）、「肉類及び同調製品」（94.4%）
（主な減少品目は「一般機械」（▲66.5%）、「その他の化学製品」（全減）、「金属鉱及びびくず」（▲32.0%））
- ・国（地域）別構成比は台湾（35.5%）、韓国（13.1%）、香港（12.5%）、カナダ（9.1%）、インドネシア（3.7%）

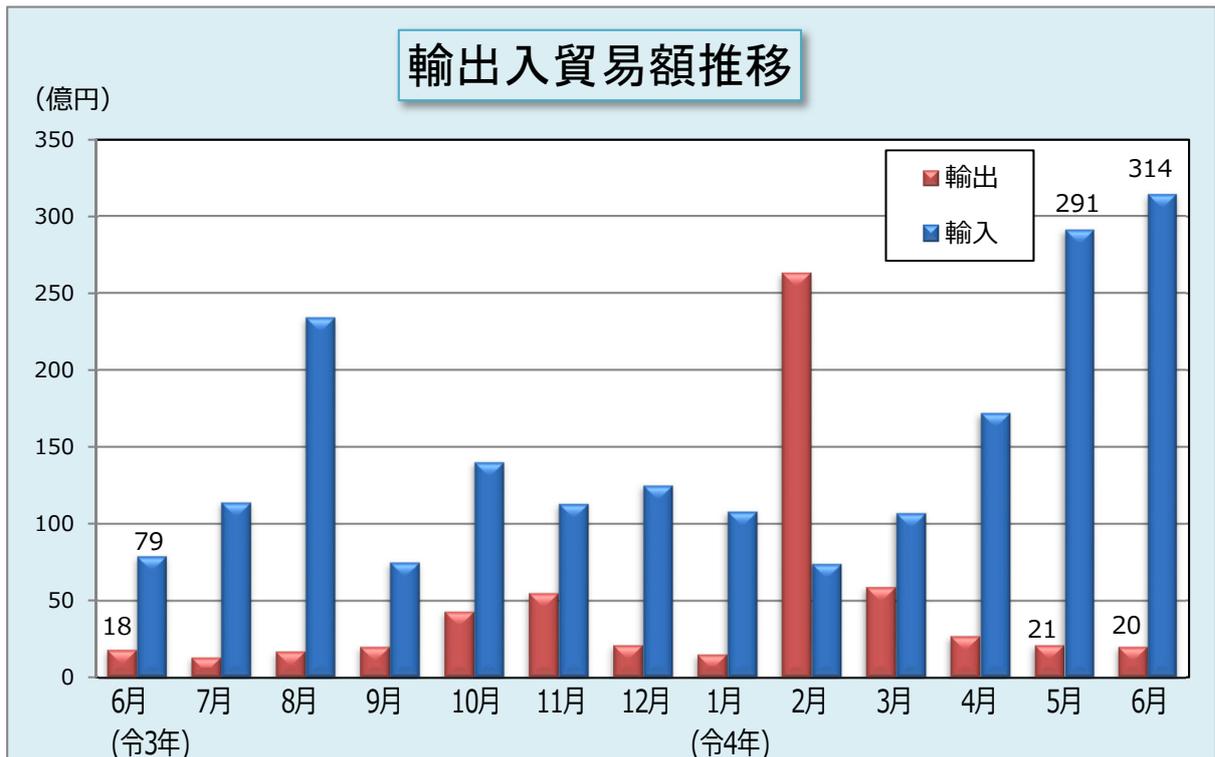
●輸入

・輸入総額は314億24百万円、対前年同月比4.0倍（9ヵ月連続の増加）

- ・主な増加品目は「原粗油」（全増）、「石炭」（6.0倍）、「穀物及び同調製品」（4.2倍）
（主な減少品目は「電気機器」（▲37.8%）、「照明器具」（▲81.8%）、「一般機械」（▲12.3%））
- ・国（地域）別構成比はサウジアラビア（44.7%）、オーストラリア（16.4%）、インドネシア（8.7%）、中国（5.8%）、アメリカ（5.0%）

●差引

・差引額は294億11百万円の入超（前年同月は60億78百万円の入超）



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名 (金額・伸率)	構成比	主要国 (地域) (金額・伸率)
1 輸送用機器 (4億46百万円、9.9倍)	22.2%	台湾 (3億75百万円、全増) ソロモン (45百万円、全増)
2 パルプ及び古紙 (2億71百万円、33.5%)	13.5%	台湾 (1億61百万円、46.9%) インドネシア (72百万円、53.3%)
3 再輸出品 (2億56百万円、5.8倍)	12.7%	カナダ (1億61百万円、全増) イタリア (36百万円、65.2倍)
4 金属鉱及びびくず (2億48百万円、▲32.0%)	12.3%	韓国 (2億円、▲9.8%) マレーシア (34百万円、18.0%)
5 一般機械 (2億4百万円、▲66.5%)	10.1%	中国 (52百万円、3.5倍) 台湾 (45百万円、▲63.2%)
<p>増加品目 (増加額・伸率) 主な増加国 (地域)</p> <p>1 輸送用機器 (+4億1百万円、9.9倍) 台湾、ソロモン</p> <hr/> <p>2 再輸出品 (+2億12百万円、5.8倍) カナダ、イタリア</p> <hr/> <p>3 肉類及び同調製品 (+97百万円、94.4%) 香港、シンガポール</p> <hr/> <p>減少品目 (減少額・伸率) 主な減少国 (地域)</p> <p>1 一般機械 (▲4億4百万円、▲66.5%) アメリカ、台湾</p> <hr/> <p>2 その他の化学製品 (▲1億79百万円、全減) アメリカ</p> <hr/> <p>3 金属鉱及びびくず (▲1億17百万円、▲32.0%) 台湾、韓国</p> <hr/>		

(2) 主要国 (地域) 別動向

国 (地域) 名 (金額・伸率)	構成比	主要品目 (金額・伸率)
1 台湾 (7億15百万円、90.2%)	35.5%	輸送用機器 (3億75百万円、全増) パルプ及び古紙 (1億61百万円、46.9%)
2 韓国 (2億63百万円、▲4.4%)	13.1%	金属鉱及びびくず (2億円、▲9.8%) 加工油脂及びろう (36百万円、10.0倍)
3 香港 (2億51百万円、25.0%)	12.5%	肉類及び同調製品 (1億63百万円、84.6%) 再輸出品 (29百万円、▲6.6%)
4 カナダ (1億82百万円、3.5倍)	9.1%	再輸出品 (1億61百万円、全増) 一般機械 (21百万円、▲5.9%)
5 インドネシア (75百万円、60.3%)	3.7%	パルプ及び古紙 (72百万円、53.3%)

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名 (金額・伸率)	構成比	主要国 (地域) (金額・伸率)
1 原粗油 (140億25百万円、全増)	44.6%	サウジアラビア (140億25百万円、全増)
2 石炭 (79億97百万円、6.0倍)	25.4%	オーストラリア (49億60百万円、4.8倍) インドネシア (21億58百万円、11.3倍)
3 肉類及び同調製品 (11億40百万円、45.9%)	3.6%	アメリカ (2億75百万円、2.7倍) スペイン (2億3百万円、31.1%)
4 その他の雑製品 (9億86百万円、2.2倍)	3.1%	フランス (4億44百万円、3.4倍) 中国 (2億8百万円、47.0%)
5 穀物及び同調製品 (9億78百万円、4.2倍)	3.1%	タイ (4億88百万円、全増) アメリカ (2億25百万円、42.0%)
<p>増加品目 (増加額・伸率) 主な増加国 (地域)</p> <p>1 原粗油 (+140億25百万円、全増) サウジアラビア</p> <hr/> <p>2 石炭 (+66億72百万円、6.0倍) オーストラリア、インドネシア</p> <hr/> <p>3 穀物及び同調製品 (+7億48百万円、4.2倍) タイ、アルゼンチン</p> <hr/> <p>減少品目 (減少額・伸率) 主な減少国 (地域)</p> <p>1 電気機器 (▲2億56百万円、▲37.8%) フランス、アメリカ</p> <hr/> <p>2 照明器具 (▲2億23百万円、▲81.8%) 中国、メキシコ</p> <hr/> <p>3 一般機械 (▲95百万円、▲12.3%) カナダ、アメリカ</p> <hr/>		

(2) 主要国 (地域) 別動向

国 (地域) 名 (金額・伸率)	構成比	主要品目 (金額・伸率)
1 サウジアラビア (140億35百万円、殆全増)	44.7%	原粗油 (140億25百万円、全増)
2 オーストラリア (51億50百万円、4.6倍)	16.4%	石炭 (49億60百万円、4.8倍) 飼料 (64百万円、63.4%)
3 インドネシア (27億29百万円、6.2倍)	8.7%	石炭 (21億58百万円、11.3倍) その他の動植物性原材料 (3億57百万円、2.1倍)
4 中国 (18億24百万円、34.8%)	5.8%	その他の雑製品 (2億8百万円、47.0%) 一般機械 (2億3百万円、47.7%)
5 アメリカ (15億74百万円、34.3%)	5.0%	果実及び野菜 (3億79百万円、6.5倍) 肉類及び同調製品 (2億75百万円、2.7倍)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町 2-11-1 那覇港湾合同庁舎 3階
TEL. 098-862-9650

